

【EMD.GR.JP 掲載のニュース】

(2004年10月13日～

2004年12月1日分)

NTT、108Mbps 無線通信のフィールド実験を開始

NTT は、複数の送受信アンテナを組み合わせたことで無線を高速化する「MIMO-OFDM 技術」の開発に成功し、横須賀市周辺エリアを中心としたフィールド実験を開始すると発表した。

MIMO-OFDM 技術は、無線 LAN で現在利用されている OFDM 技術に、複数の送受信アンテナを利用して同一周波数帯で複数の通信を同時に行なう MIMO 技術を組み合わせたもので、周波数帯域を増やすことなく通信速度を向上させられる点の特徴。

MIMO 技術は、次世代無線 LAN 規格「IEEE802.11n」における有力な技術として標準化組織で審議が行なわれている。

今回 NTT が行なう実験では、送信側と受信側にそれぞれ 2 本ずつのアンテナを使用し、5.08GHz の周波数帯で IEEE 802.11a/HiSWANa の規格をベースにした通信を 2 本同時に行なうことで、最高 108Mbps の伝送速度を実現している。

オフィスや会議室などの屋内のほか、公衆無線スポットを想定して路上や公園などの屋外でのフィールド実験を行ない、伝送特性を評価する。

NTT では今回の実験による技術検証を踏まえて、公衆無線アクセスサービスの高速化を検討するほか、携帯電話などのモバイル通信や固定無線アクセスへの適用可能性を検討するとしている。

(12/1)

KDDI、「KDDI 光プラス」に戸建て向け 1Gbps 回線共有プランを追加

KDDI は、光ファイバを利用してインターネット接続や電話、多チャンネル放送などを提供するサービス「KDDI 光プラス」に戸建て住宅向けに 1Gbps の光ファイバ回線を分岐して提供する接続プラン「光プラスホーム」を追加、2005 年 1 月 12 日より申し込み受け付けとサービス提供を開始すると発表した。

光プラスホームは、最大 1Gbps の光ファイバ回線を最大 8 ユーザーで分岐して共有するプラン。回線分岐には IEEE 802.3ah に準拠した技術「GE-PON

(Gigabit Ethernet-Passive Optical Network)」を採用し、ユーザー宅内の回線終端装置まで最大 1Gbps で、回線終端装置からは上下最大 100Mbps で提供する。

サービス提供は、戸建て住宅および 2 階建て以下の集合住宅が対象で、1 契約からの申し込みが可能。提供エリアは、2004 年度は東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県の一部を対象に提供を開始し、以降順次拡大する予定としている。

料金は初期費用が 31,500 円、登録費用が 3,150 円。月額料金は、インターネット接続サービスの「光プラスネット DION」が 6,720 円、また、光プラスネット DION と個人向け IP 電話サービス「光プラス電話」とのセットが 7,245 円、映像配信サービス「光プラス TV」とのセットが 9,240 円、光プラス電話と光プラス TV、光プラスネット DION のセットが 9,765 円となる。

また、KDDI では 2005 年 3 月 31 日までに光プラスホームに申し込んだユーザーを対象としたキャンペーンを展開する。対象ユーザーの初期費用 31,500 円や、各サービスの最大 2 カ月分の月額料金を無料とする。そのほか、光プラス電話に加入した場合は、光プラス電話のオプション料金と加入者宛の通話料を 2005 年 3 月 31 日まで無料とする。

(11/30)

ソニー、MP3 と USB 充電に対応した 20GB HDD ウォークマンを発表

ソニーは、MP3 再生に対応した 20GB HDD 搭載のネットワークウォークマン「NW-HD3」を 2004 年 12 月 10 日に発売すると発表した。

「NW-HD3」は、2004 年 7 月に発売された「NW-HD1」、2004 年 10 月発売の「NW-HD2」の後継モデルとなる製品で、新たに MP3 ファイルを直接再生可能となったほか、USB 充電に対応するなどの機能強化が図られた。

MP3 ファイルは SonicStage から変換せず、直接転送して再生可能となっている。なお、転送される MP3 ファイルは OpenMG Audio 形式の MP3 ファイルとして転送されるため、他のパソコンに書き出しても再生はできない。

対応ビットレートは ATRAC3plus が 48/64/256kbps、ATRAC3 が 66/105/132kbps、MP3 が 32～320kbps、VPT Acoustic Engine など

の高音質化回路や、6 バンドイコライザなどを装備するが、MP3 再生時には利用できない。ただし、低音/高音域をそれぞれ 8 段階に調節できる「Digital Sound Preset」による音質設定は可能となっている。

MP3 対応にあわせて付属ソフトの SonicStage も Ver.2.3 となり、音楽 CD からリッピングした音楽の転送回数が無制限となったほか、ATRAC3 CD に加え、音楽 CD(CDDA)の作成機能も搭載した。

筐体はマグネシウム合金を採用。1.8 インチの 20GB HDD を内蔵し、外形寸法は 90 × 13.8 ～ 14.8 × 62.1mm (幅 × 奥行き × 高さ)、重量は約 130g。

HDD に重加速度センサー「G センサー」機構を搭載。本体の落下を検知すると即座に、記録ヘッドを退避し、HDD の損傷を防ぐという。また、HDD を包み物理的な衝撃を和らげる「対衝撃ダンパー」も備えている。

本体ディスプレイは 1.5 型の EL バックライト付き液晶を採用。Artist/Album/Genre/Group/Other などの検索モードを用意し、上部の Mode ボタンでモード切り替えが可能。本体の上下左右キーで曲/アルバムなどを選択し、中央の Play/Stop/Enter ボタンで曲の再生が行なえる。

パソコンとの接続は付属の USB ケーブルと AC アダプタを接続するための変換アダプタを利用する。AC アダプタ経由のほか、新たに USB バスパワーでも充電可能も可能となった。AC アダプタ利用時の充電時間は約 1 時間 (80%) / 約 3 時間 (フル充電) で、USB 充電時は約 3 時間 (80%) / 約 5 時間 (フル充電)。再生時間は ATRAC3plus 48kbps / ATRAC3 66kbps 再生時で約 30 時間、MP3 128kbps で約 22 時間となっている。

ボディカラーは、シルバー/ブラック/ブルー/レッドの 4 色が用意される。シルバーのみ液晶カラーがホワイト、そのほかの 3 色はブルーとなる。価格はいずれもオープン。

なお、NW-HD1/2 のユーザー向けにも MP3 対応可能な有償アップデートサービスも 11 月 30 日から 2005 年 5 月 31 日まで受け付ける。アップデート価格は 2,000 円 (送料込み)。

(11/30)

ソニー、MP3再生に対応した1GBネットワークワークマンを発表

ソニーは、ネットワークワークマンの新製品として、内蔵メモリ1GBでMP3再生に対応した「NW-E99」を2004年12月10日より発売すると発表した。

対応オーディオコーデックはATRAC3plus/ATRAC3とMP3。新たにMP3の再生に対応した。

MP3の転送にはNW-E99の内蔵メモリ内の「MP3 FileManager 1.2」を利用する。PCに接続すると、NW-E99内のMP3 FileManager 1.2が起動し、MP3 File Managerのウィンドウが表示される。そこにMP3ファイルをドラッグ&ドロップすることで転送を行なう。

また、曲順の変更などもFileManager上で行なえる。なお、一度転送したファイルはPCに書き戻せない。MP3 FileManagerで転送した音楽ファイルはSonicStage上では表示されず、また、SonicStageから転送したファイルはMP3 FileManagerからは表示できない。

PCとのインターフェースはUSB 2.0。バッテリー駆動時間は約70時間(ATRAC3 105kbps)。電源は単4乾電池で、ヘッドフォン、ヘッドフォン延長コード、USBケーブル、キャリングポーチ、ネックストラップなどが付属する。

外形寸法は56×15×37.3mm(幅×奥行き×高さ)、重量約40g(本体のみ)/51g(電池含む)。ボディカラーはシルバー。価格はオープン。

(11/30)

NTT東日本、1Gbpsの光回線を共有する新メニュー発表

NTT東日本は、光ファイバ回線を利用した接続サービス「Bフレッツ」に最大1Gbpsの回線を複数ユーザーで共有する上下最大100Mbpsの「ハイパーファミリータイプ」を追加、2004年11月30日よりBフレッツ提供エリアの一部を対象に申し込み受け付けとサービス提供を開始すると発表した。

ハイパーファミリータイプは、ニューファミリータイプの後継プランにあたるもので、1つの回線を複数ユーザーで共有するシェアアクセス方式を利用し、アクセス回線の回線速度を100Mbpsから1Gbpsに高速化したもの。

そのほかの仕様については、同時接続可能な端末未台数は5台まで、同時接続可能なPPPセッション数は2つまでで、ニューファミリータイプと同一となる。

ハイパーファミリータイプの初期費用は、契約料840円、工事費が平日の場合で28,455円。月額料金は、利用料が4,725円、回線終端装置利用料が945円、屋内配線利用料が200円。

ハイパーファミリータイプの申し込み受け付けは、2004年11月30日から2005年1月24日までに、サービス提供を予定しているエリアのユーザーを対象に2004年11月30日より受け付ける。

(11/29)

NTT東日本、802.11g採用の公衆無線LANサービス

NTT東日本は、IEEE 802.11gおよびIEEE 802.11bに準拠し、プロバイダーを選択できる公衆無線LANサービス「フレッツ・スポット」を2004年12月1日より開始すると発表した。

フレッツ・スポットは、NTT東日本が自社で設置したアクセスポイントを利用した、Bフレッツ、フレッツ・ADSL、フレッツ・ISDNユーザー向けの公衆無線LANサービスで、インターネット接続の際にユーザーが利用プロバイダーを選択できる特徴を持つ。

フレッツ・スポットのアクセスポイントは、サービス開始当初は東京急行電鉄(東急)田園都市線と東横線、京浜急行電鉄(京急)本線、久里浜線および空港線、相模鉄道(相鉄)本線といずみ野線、西武鉄道池袋線、横浜市営地下鉄の主要駅を始め、新宿NSビル丸の内オアゾなど120カ所に設置。

以降、京王電鉄本線、相模原線、井の頭線や、ケンタッキーフライドチキン(KFC)、インタリアントマトなどの飲食店チェーンへの拡充を図り、2005年度末にはNTT東日本エリア内で3,500カ所に拡大する予定としている。

なお、同社では既にフレッツシリーズユーザー向けに公衆無線LANサービス「Mフレッツ」を提供しているが、フレッツ・スポットとは異なるサービスとして提供を続ける。

提供プランは、「標準プラン」「高セキュリティプラン」「Mフレッツメイト併用タイプ」の3プラン。

標準プランは、Windows XP/Me/2000/NT4.0/98SE/98/95およびMac OS 7.61~9.xに対応するプランで、認証はMACアドレスフィルタリングのほか、対応プロバイダーの認証が必要となる。

高セキュリティプランはWindows XPのみに対応し、対応プロバイダーの認証に加え、WEPのほかIEEE 802.1Xによる認証を採用している。

Mフレッツメイト併用タイプは、フレッツ・スポットのアクセスポイントに加え、「Mフレッツホスト」で提供されるアクセスポイントも利用できるプラン。なお、Mフレッツメイト併用タイプ以外の2プランはフレッツシリーズのユーザー以外でも利用できる。

料金は、初期費用が基本工事費1,050円、交換機等工事費1,050円。月額料金が、フレッツシリーズは各プランとも840円、フレッツシリーズユーザー以外が標準プラン、高セキュリティプランともに945円となる。また、別途プロバイダー接続料金が必要となる。

(11/25)

有線ブロード、カラオケ楽曲に歌詞を埋め込む音楽配信サービス

有線ブロードネットワークスは、同社が展開している音楽ダウンロードサービス「OnGen USEN MUSIC SERVER」において、カラオケの楽曲ファイルに歌詞情報を埋め込むサービスを2004年11月18日から開始した。

OnGenでは、これまでカラオケ楽曲のダウンロード販売を行ってきたが、歌詞情報はテキストファイルで同梱され、楽曲の再生と歌詞の表示は別々になっていた。2004年11月18日から開始された新しいサービスでは、歌詞情報を楽曲ファイルに埋め込み、プレーヤーで歌詞を表示しながら再生が行なえるようになった。

歌詞表示に対応したプレーヤーは、オリンパスが2004年11月26日に発売するHDDオーディオプレーヤー「m:robe」(エム ロープ)シリーズのみで、オリンパスと有線ブロードは今後、共同でプロモーションを展開していくとしている。

(11/18)

サン電子、HDD 搭載のネットワーク対応音楽プレーヤーを発表

サン電子は、PC や NAS の共有フォルダに記録した音楽ファイルを、Ethernet 経由で再生できるネットワークミュージックプレーヤーとして端末機能のみの「BiBio wGate」(ビビオ ダブルゲート)と 20GB の HDD を内蔵した「BiBio JukeBOX」(ビビオ ジュークボックス)の 2 機種を発売すると発表した。

「BiBio JukeBOX」は 20GB の HDD を搭載したネットワーク・ミュージック・HDD レコーダ。10BASE-T の Ethernet 端子を搭載しており、LAN 内の PC、および NAS の共有フォルダにアクセス。内部の MP3/WMA ファイルをストリーミングで再生するネットワークプレーヤー機能を持っている。また、同ファイルを BiBio JukeBOX に内蔵した HDD に保存することもできる。

動作が確認されている配信元 PC の OS は、Windows 2000/XP、Mac OS X 10.2 - 10.3.5。NAS はバッファローの LinkStation (HD-LAN/HLAN/HGLAN シリーズ)、アイ・オー・データの LANDISK (HDL シリーズ)、ロジテックの LHD-LAN シリーズ。

また、アナログステレオ入力 (RCA) と、光デジタル入力も装備。MP3 エンコーダも内蔵しており、単体で MP3 ファイルを作成し、HDD に保存できる。さらに、ネットワーク配信の親機としても動作できるため、Ethernet 接続した姉妹機 BiBio wGate に MP3 ファイルを配信できる。

さらに、USB 2.0 端子も用意。ストレージクラスのマスタ (ホスト) として動作し、別途 USB ストレージクラスに対応した USB メモリータイプのシリコンオーディオプレーヤーを接続し、同プレーヤーに音楽ファイルをコピーすることもできる。

ただし、BiBio JukeBOX の光デジタル入力を利用してエンコードした MP3 ファイルには、独自の暗号化処理が施されるため、録音した BiBio JukeBOX 固体でのみの再生となり、ネットワーク経由の再生や USB オーディオプレーヤーのコピーはできない。

また、インターネットラジオの再生機能も装備。任意のネットラジオ局を 10 個まで登録できるプリセット機能も備える。

各種本体設定は Web ブラウザから行なえる。出力端子として、イヤフォン、アナログステレオ (RCA)、光デジタル出力を各 1 系統装備しており、コンボな

どと接続可能。128 × 32 ドットのバックライト付き液晶ディスプレイを備えるほか、リモコンも同梱している。外形寸法は 186 × 150 × 60mm (幅 × 奥行き × 高さ)。重量は 1kg。電源は AC アダプタ。

「BiBio wGate」は、BiBio JukeBOX から、HDD と録音機能を省き、無線 LAN 専用の CF カードスロットを搭載した端末タイプ。10BASE-T の Ethernet 端子を搭載し、LAN 内の PC、および NAS に保存した MP3 ファイルの再生が可能。なお、BiBio JukeBOX は WMA ファイルの再生にも対応していたが、BiBio wGate は MP3 ファイルのみサポートしている。動作が確認された OS や NAS は BiBio JukeBOX と同じ。

CF カードスロットは無線 LAN カード専用となっており、市販の無線 LAN カードを挿入することで、ワイヤレスでネットワーク再生が行なえる。ネットラジオ受信機能も備えており、プリセット機能や、独自のリンク集を作成し、BiBio wGate で読み込む機能も利用できる。

出力端子は、アナログステレオ (RCA)、イヤフォンを各 1 系統。128 × 32 ドットのバックライト付き液晶ディスプレイを備えている。外形寸法は 186 × 150 × 60mm (幅 × 奥行き × 高さ)。重量は 800g。電源は AC アダプタ。

発売時期は「BiBio wGate」が 2004 年 11 月下旬で、「BiBio JukeBOX」が 2005 年 1 月下旬。価格はいずれもオープン。

(11/16)

総務省、6 月末のブロードバンド契約者数を新方式で公表

総務省は、2004 年 6 月末現在のブロードバンド契約者数等の推移を発表した。2004 年 6 月末の FTTH、DSL、CATV を合計したブロードバンドの契約者数は 14,787,527 契約。

この数値は、2004 年 4 月 1 日施行の改正電気通信事業報告規則の規定により、電気通信事業者からサービスの契約者数について四半期ごとに報告を受けることを踏まえて、毎四半期ごとに取りまとめた結果を発表するもの。

従来まで一部の電気通信事業者から任意で提出された情報に基づいた「インターネット接続サービスの利用者数等の推移」を毎月末に発表していたが、この発表は 2004 年 8 月末までの数値で終了し

ている。

インターネット接続サービスの契約者数は、契約者数 5 万以上の 36 事業者の合計で 28,743,610 契約。カテゴリ別に見ると FTTH が 1,757,716 契約、DSL が 12,118,714 契約、CATV が 2,688,813 契約となっている。

今回から新たに FWA や公衆無線 LAN サービスの契約者数も公開された。FWA は 2004 年 6 月末で 29,514 契約、公衆無線 LAN サービスが 52,644 契約となっている。

(11/12)

東芝 EMI、Mora/MusicDrop で 10 回までの CD 書出しを許可

レーベルゲートは、同社が運営する音楽配信サイト「Mora」と「MusicDrop」で配信する楽曲のうち、東芝 EMI の楽曲について 2004 年 11 月 17 日より新楽曲使用ルールで配信すると発表した。

Mora/MusicDrop 上の楽曲のうち、東芝 EMI の楽曲については、「対応機器への転送が回数無制限」「音楽 CD としての書き込みが 1 曲につき 10 回まで」という新配信ルールが適用される。

Mora で購入した楽曲は OpenMG 対応機器への転送が、MusicDrop で購入した楽曲については WMA DRM 対応機器への転送回数が無制限となる。

なお、2004 年 11 月 17 日正午前前に購入した楽曲については、新配信ルールでの利用はできない。

(11/12)

ソニー、アイワブランドの MP3/ATRAC3plus/ATRAC プレーヤー発表

ソニーは、ATRAC3plus/ATRAC3/MP3 の再生に対応したアイワブランドのフラッシュメモリープレーヤーを 2004 年 12 月 1 日に発売すると発表した。

ラインナップは 256MB 容量の「XDM-S700」、128MB 容量の「XDM-S500」と、Bluetooth 対応で 256MB 容量の「XDM-S710BT」の 3 機種。XDM-S500 には、シルバーとブルー 2 色のカラーバリエーションが設定されている。

XDM シリーズは全モデル ATRAC3plus、ATRAC3、MP3 の 3 種類のフォーマットの再生に対応。

PC とのインターフェースは USB 1.1、電源には単 3 電池 1 本を使用。アルカリ電池使用して ATRAC3 66kbps 再生時で、最長約 100 時間 (ATRAC3plus 48kbps: 約 90 時間、MP3 128kbps: 約 80 時間、FM 受信: 約 40 時間) の連続再生が可能となっている。

3 機種とも基本デザインや外形寸法、重量は同じ。本体ボディにはアルミニウムを採用し、外形寸法は約 88.6 × 24.6 × 24.3mm (幅 × 奥行き × 高さ)、重量は約 37g (電池込みで約 60g) となっている。

実用最大出力は 5mW + 5mW。操作系にはシャトルスイッチを採用しており、選曲や音量調節などを操作可能。日本語表示も可能な液晶を装備しており、曲名などを表示できる。そのほかにもデジタルサウンドプリセットや、シャッフル再生、A-B リピート再生、センテンスリピート機能なども搭載している。

バンドルソフトは「SonicStage Ver.2.1」。さらに XDM の内蔵メモリに「MP3 File Manager」を内蔵し、PC と接続するとアプリケーションが起動し MP3 File Manager のウィンドウが表示され、そこに MP3 ファイルをドラッグ & ドロップすることで転送を行なうことができる。

XDM-S700 と XDM-S500 には、30 局をプリセットできる FM チューナ (TV1 ~ 3ch) を内蔵。XDM-S710BT は「Bluetooth ハンズフリープロファイル/ヘッドセットプロファイル」に対応し、Bluetooth 対応の携帯電話と無線接続することができ、音楽を聞いているときに携帯電話が着信するとそのまま、プレーヤーに接続したヘッドフォンと内蔵マイクを通じて、ハンズフリーで通話が可能となっている。

全モデルにヘッドフォンや、専用 USB ケーブル、キャリングケース、キャリングケース用ストラップ、ネックストラップ、ヘッドフォン延長コードなどが付属する。価格はいずれもオープン。

(11/11)

USEN、光ファイバサービスの取り付け総数が 10 月末で 20 万件を突破

有線ブロードネットワーク (USEN) は、2004 年 10 月 31 日現在でのブロードバンド事業の進捗状況を発表した。

これによると、工事日が確定している契約者数が前月比 15,853 増の 329,248 件、回線が開通している取付数が前月比 10,076 増の 202,846 件となった。取付数が 3 ヶ月連続で毎月 1 万件を越えて累計 20 万件を突破した。

なお、取付数の内訳では、戸建てが前月比 12 減の 8,519 件、集合住宅が前月比 9,261 増の 179,263 件、法人用途のオフィス・商業ビルが前月比 827 増の 15,064 件となっている。

同様に、集合住宅における 1 棟あたりの平均加入戸数は 4.89 (集合住宅 6.44、法人用途のオフィス・商業ビル 1.26)、集合住宅取付棟数は前月比 1,269 増の 39,744 (集合住宅 27,825、法人用途のオフィス・商業ビル 11,919) となっている。

また、有線ブロードネットワークは、2005 年 3 月 1 日付で社名を「USEN」に変更すると発表している。

(11/10)

レーベルゲート、音楽管理ソフト「SonicStage」を無償配布

レーベルゲートは、OpenMG 対応のデジタル音楽管理ソフト「SonicStage 2.3 for Mora」を 2004 年 11 月 17 日より無償配布すると発表した。

SonicStage は従来までソニーの音楽プレーヤーなどに同梱する形で提供されており、レーベルゲートでは OpenMG 対応の音楽管理ソフト「MAGICQLIP 2」を無償で提供していた。

今回、レーベルゲートでは SonicStage を Mora の推奨ソフトとして提供し、OpenMG 対応の楽曲ファイル管理は SonicStage に統合を図る。

また、無償配布にあわせて SonicStage の機能も拡充。音楽 CD の作成機能が追加されるほか、ポータブル音楽プレーヤーへの楽曲転送回数を無制限にするといったルール設定が可能になる。

SonicStage 2.3 for Mora の対応 OS は Windows XP/2000/MCE2004/MCE2005 で、著作権保護方式は OpenMG をサポート。音楽フォーマットは OpenMG 対応の ATRAC3/ATRAC3plus/PCM のほか、MP3、WMA、WMV もサポートする。

楽曲の取り込みは CD、音楽ダウンロード配信サービス、PC 内の音楽ファイルから可能で、CDDB を利

用した音楽情報取り込み機能、音楽ライブラリ管理機能、バックアップ/リストア機能などを搭載する。

(11/10)

クリエイティブ、FM ラジオ内蔵 WMA/MP3 プレーヤーの 1GB モデル追加

クリエイティブメディアは、FM チューナ内蔵の MP3/WMA プレーヤー「MuVo TX FM」の 1GB モデル「CNMVT1GF」を 2004 年 11 月下旬より発売すると発表した。

「MuVo TX FM」は、バッテリーパックとフラッシュメモリの 2 ビース構成の FM チューナ内蔵 MP3/WMA オーディオプレーヤー。2004 年 6 月より 128/256MB が発売、同 9 月より 512MB モデルが発売されている。

USB メモリ部のカラーはブラックで、ストレージクラス対応の USB ストレージとして利用可能となっている。PC 上の WMA/MP3 ファイルをドラッグ & ドロップで USB メモリ部にコピーして、バッテリー部を組み合わせることで再生できる。

USB メモリ部には液晶ディスプレイを搭載し、ファイル名や ID3 タグの日本語表示に対応する。MP3 (32 ~ 320kbps) /WMA (64 ~ 160kbps) の再生に対応するほか、著作権保護機能 (DRM) 付きの WMA の再生もサポートしている。

FM ラジオの再生のほか、ADPCM 形式での FM 録音にも対応。また、ボイスレコーディング機能も備えている。

また、PC 上の Outlook との連携機能も搭載。Creative Sync Manager を利用して、Outlook のカレンダーや ToDo、アドレスのデータを Zen Micro に転送できるほか、Outlook Express のアドレス帳データも読み込み可能。

バッテリーは単 4 乾電池で連続再生時間は約 15 時間 (MP3 再生時)。外形寸法は 36.7 × 16 × 74mm (幅 × 奥行き × 高さ)、重量は約 43g (電池搭載時)。リビング/ジュークボックスソフト「Creative MediaSource」や、ステレオイヤホン、ネックストラップなどが付属する。

バッテリーパックのカラーは 512MB モデルと同様のブラック。価格はオープン。

(11/10)

クリエイティブ、10色カラーの5GB HDD プレーヤー「Zen Micro」を発表

クリエイティブメディアは、5GB HDDを搭載した1インチ HDD オーディオプレーヤー「Creative Zen Micro 5GB」を2004年11月中旬より発売開始すると発表した。

「Creative Zen Micro 5GB」は、5GBのHDDを搭載したオーディオプレーヤー。1.4型/160×104ドットのブルー-EL バックライト付き液晶ディスプレイを装備し、液晶下の操作部にはタッチパネルを採用する。操作はタッチパネルのほか、付属のリモコンでも行なえる。

音声圧縮形式はWMA/MP3/WAVに対応し、対応ビットレートは、WMA/MP3ともに8~320kbps。WMAのDRMもサポートする。SN比は98dB、ヘッドフォン出力は7mW×2ch。

イコライザは、ロック/ポップス/ニューエイジなど8モードのプリセットを用意。5バンドのカスタム設定も可能となっている。パソコンとのインターフェースはUSB 2.0。

オーディオデータの転送は付属ソフトの「Creative Media Source」や「Zen Micro メディアエクスプローラ」、もしくは「Windows Media Player 10」などから行なう。USBストレージクラスの専用領域を設けて、データのバックアップなどにも利用できるが、USBストレージ領域にオーディオデータを転送して再生することはできない。

また、PC上のOutlookとの連携機能も搭載。Creative Sync Managerを利用して、OutlookのカレンダーやToDo、アドレスのデータをZen Microに転送できるほか、Outlook Expressのアドレス帳データも読み込み可能。

FMチューナーを内蔵し、FM録音に対応。内蔵マイクによるボイスレコーディングも可能となっている。録音形式はIMA ADPCM形式でFM録音時にステレオ、内蔵マイク録音時にはモノラルとなる。

電源は取り外し可能なリチウムポリマーバッテリーで、連続再生時間は約12時間。外形寸法は約51×19×84mm(幅×奥行き×高さ)、重量は約180g。リモコンやUSBケーブル、ネックストラップ、イヤフォン、チャージングポーチ、クレドル/ベルトストラップなどが付属する。

ボディカラーはダークブルー/シルバー/グリーン/オレ

ンジ/レッド/ホワイト/ブラック/パープル/ライトブルー/ピンクの10色が用意され、シルバーとブラックの2色が2004年11月中旬より発売。その他のカラーについては発売日未定となっている。価格はいずれもオープン。

(11/10)

NHJ、音楽配信サービス対応のMP3/WMA プレーヤーを発表

エヌエイチジェイは、MP3/WMA プレーヤー「v@mp VP-612D」を2004年11月19日より発売すると発表した。

「v@mp VP-612D」は、128MBメモリを内蔵したMP3/WMA プレーヤー。ボディカラーはレッド/ブルー/ブラックの3色。

音声圧縮形式はMP3/WMAの再生が可能で、対応ビットレートはMP3が8~320kbps、WMAが32~192kbps。WMA DRMにも対応し、v@mp VP-600Dの発売に合わせてスタートする音楽配信サービス「NHJ Music Store」で購入した楽曲の転送などが行なえる。

128×32ドットの2行表示対応液晶ディスプレイを装備し、ID3タグ表示も行なえる。内蔵マイクによるボイスレコーディング機能も搭載。ノーマル/ロック/ジャズ/クラシック/ポップのイコライザ機能も搭載する。パソコンのインターフェースはUSB 1.1。

バッテリーは単4アルカリ電池で再生時間は約12時間。外形寸法は22×25×63mm(幅×奥行き×高さ)、重量は約26g(電池除く)。

NHJ Music Storeは、2004年11月19日より開設されるWMA形式の音楽配信サービス。楽曲の価格は158~270円。アルバム販売も予定しており、価格は1,575~3,150円。取り扱い楽曲数は邦楽1万曲以上、洋楽1万曲以上を予定している。

(11/9)

エフビット、1Gbpsの光回線を利用した集合住宅向けサービス

エフビットコミュニケーションズ(エフビット)は、1Gbpsの光アクセス回線を利用した集合住宅向け光ファイバ接続サービス「GIGA TOWN -Premium- (ギガタウン・プレミアム)」を2004年12月より順次提供すると発表した。

GIGA TOWN -Premium-は、1棟あたり50戸以上の契約が見込まれる集合住宅向けに提供される光ファイバ接続サービス。利用料金は、イーサネットタイプが月額2,000円から、VDSLタイプが月額2,980円から。

エフビットでは、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県の8都府県内の一部エリアで12月より順次サービスを提供していくという。なお、1Gbpsの光アクセス回線は、NTT東西やTEPCOひかりなど他通信事業者の回線を利用している。

構内の通信は、イーサネットタイプとVDSLタイプの2種類が用意される。利用料金はイーサネットタイプが月額2,000円から、VDSLタイプが月額2,980円からで、開通時には初期費用5,250円と工事費用が必要になる。

あわせて同社では、GIGA TOWN -Premium-向けの映像配信サービスとして「テレビで見えるビデオオン・デマンド(仮称)」の提供も順次開始する。利用料金は約200タイトルが視聴できる月額2,000円台の定額コースと、視聴タイトルごとに課金するペイ・パー・ビュー(PPV)コースの2種類が用意される。

(11/4)

Excite Music Store、100万人までの楽曲無料キャンペーン

エキサイトは、同社が運営する音楽ダウンロードサービス「Excite Music Store(エキサイトミュージックストア)」において、サービス未使用者を対象に無料で楽曲をダウンロードできるキャンペーン「エキサイト株式公開記念100万人に100万曲無料プレゼント」を2004年11月2日正午より開始した。

このキャンペーンは、エキサイトが同日にジャズダックへ株式上場したことを記念して実施するもの。Excite Music Storeで配信されている楽曲の中から1曲を無料でダウンロードできる。対象となるユーザーは、Excite Music Storeを利用したことのないユーザーとなる。

キャンペーンは2005年3月31日まで実施するが、楽曲を無料でダウンロードしたユーザーが100万人に達した時点でキャンペーンを終了する。

(11/2)

Apple、英仏独に続いて EU 諸国向けの「iTunes Music Store」開始

米 Apple Computer は、EU 諸国向けの「iTunes Music Store」を開始したと発表した。利用できる国はオーストリア、ベルギー、フィンランド、ギリシャ、イタリア、ルクセンブルク、オランダ、ポルトガル、スペインの9カ国。

EU 版の iTunes Music Store では、4 大メジャーレーベルと 100 以上のインディーズレーベルから提供された 70 万曲以上をラインナップしているほか、他の iTunes Music Store で利用できる iMix や Party Shuffle などすべての機能を利用できる。

価格は 1 曲 0.99 ユーロで、上記の国の住所で登録されたクレジットカードでのみ支払い可能。

iTunes Music Store はすでに米国、英国、フランス、ドイツで開業しているが、今回開始した EU 版サービスでも、他国のサービスと同じ利用形態が保証される。

(10/27)

SCEJ、PSP を 12 月 12 日に発売

ソニー・コンピュータエンタテインメント(SCEJ)は、新型携帯ゲーム機の PSP(プレイステーション・ポータブル)を 2004 年 12 月 12 日に 19,800 円(税別)の価格で発売すると発表した。

製品には PSP 本体のほか、専用の AC アダプタとバッテリーパックが同梱される。

さらに 32MB のメモリースティック DUO と、PSP 専用リモコン付きヘッドフォン、ソフトケース&ハンドストラップといった周辺機器を同梱した「PSP パリユー・バック」も、同日の 2004 年 12 月 12 日に発売となる。価格は 24,800 円(税別)。

これらの周辺機器は、それぞれ単品での別売りも予定されている。

また、バッテリー駆動時間など一部明確にはしていなかった仕様についても発表している。

バッテリーパックは高出力内蔵型リチウムイオン電池。外形寸法約 42×36×12.5(幅×奥行き×高さ)/重量約 44g で、3.6V/1,800mAh。SCEI の実測で、ゲームソフトで 4~6 時間、動画は連続 4~5 時間の再生が可能としている。

液晶はワイド 4.3 インチ 480×272 ドットで、起動はバッテリーバック使用時に 180/130/80 cd/m²、AC アダプタ使用時に 200/180/130/80 cd/m²となっている。

なお、オプション(PSP-1000K には同梱)の PSP 専用リモコン付きヘッドフォンには、再生・一時停止、FF、FR、音量(+/-)、Hold スイッチを搭載し、インナーステレオイヤホンが付属する。

(10/27)

アップル、黒塗りの iPod「iPod U2 Special Edition」を発表

アップルコンピュータは、オーディオプレーヤー「iPod」に人気ロックバンド「U2」のスペシャルモデル「iPod U2 Special Edition」を 2004 年 11 月下旬より発売すると発表した。

iPod U2 Special Edition は、黒のボディカラーに赤いクリックホイールを採用した iPod。人気ロックバンド U2 のスペシャルモデルとなっており、背面に U2 メンバーのサインを刻印している。U2 の限定ポスターも付属する。

HDD 容量は 20GB。ボディカラーやサイン以外の本体仕様は従来の第 4 世代 iPod の 20GB モデル(M9282J/A、33,390 円)と共通で、外形寸法は約 60.9×14.5×104mm、重量は 158g。

再生対応フォーマットは MP3、AAC、WAV、Apple Lossless と Audible。ビットレートは、AAC が 16~320Kbps/MP3 が 32~320kbps までサポートする。160×128 ドットの 2 インチのモノクロ液晶を搭載する。

連続再生時間は約 12 時間。充電時間は約 4 時間(80%まで約 2 時間)で、充電は AC アダプタとパソコンの FireWire 経由のほか、USB 2.0 からの充電にも対応する。

iPod 上でプレイリストを作成できる「On-The-Go」機能も搭載する。本体下面に Dock コネクタを備えており、FireWire/USB 2.0 のケーブルが付属する。

iTunes 4.7 が付属し、対応 OS は Windows 2000/XP と Mac OS X 10.1.5 以降。USB 2.0 の利用には Mac OS X 10.3.4 以降が必要となる。ヘッドフォンや AC アダプタ、FireWire ケーブル、USB 2.0 ケーブル、4 ピン-6 ピンの FireWire アダプタなどが同梱される。

(10/27)

アップル、カラー液晶搭載の 40/60GB「iPod Photo」を発表

アップルコンピュータは、HDD オーディオプレーヤー「iPod」にカラー液晶やフォトビュー機能を搭載した新モデル「iPod Photo」を発表した。

iPod Photo は、220×176 ドット/65,536 色表示の 2 インチカラー液晶を搭載した iPod。バージョンアップした「iTunes 4.7」などと組み合わせて、コンピュータ上のオーディオ/フォトデータと iPod Photo を Auto-Sync 機能により同期、iPod 上で音楽のほか、写真やスライドショーを楽しむことができる。

再生対応オーディオフォーマットは MP3、AAC、WAV、Apple Lossless と Audible。ビットレートは、AAC が 16~320Kbps/MP3 が 32~320kbps までサポートする。対応フォーマットは JPEG/BMP/GIF/TIFF/PNG。音楽を再生しながらの写真表示やスライドショー表示なども可能となっている。

ヘッドフォンジャックはコンポジットビデオ出力兼用となっており、iPod Photo 内の写真や作成したスライドショーをテレビなどに出力可能。また、Dock モライオン出力に加え、S 映像出力端子を備えた新タイプの Dock「iPod Photo Dock」が付属する。ともに NTSC/PAL でのビデオ出力に対応する。

バッテリー駆動時間は約 15 時間。BGM 付きスライドショーを表示時は約 5 時間。充電時間は約 5 時間(80%まで約 3 時間)。充電は AC アダプタとパソコンの FireWire 経由のほか、USB 2.0 からの充電にも対応する。

外形寸法は 61×19×104mm(幅×奥行き×高さ)、重量は 181g。ライン出力、S 映像出力を装備した iPod Photo Dock のほか、ヘッドフォンや AC アダプタ、FireWire ケーブル、USB 2.0 ケーブル、4 ピン-6 ピンの FireWire アダプタ、キャリングケース、AV ケーブル、iTunes 4.7 などが同梱される。

(10/27)

クリエイティブ、Portable Media Center を発表

クリエイティブメディアは、Microsoft の AV プレーヤー用プラットフォーム「Windows Mobile software for Portable Media Centers(Windows PMC)」を採用したポータブル AV プレーヤー「Creative Zen Portable Media Center 20GB(CZPMC20U)」を

2004年11月中旬より発売すると発表した。

対応動画フォーマットは WMV (MPEG-2 や DVR-MS は、Window Media Player で変換して転送可能)、オーディオフォーマットは WMA (WMA9 Lossless/Standard/Voice に対応) と MP3。静止画は JPEG に対応する。

Windows Media Player 10 と同期して、WMV 映像や WMA/MP3 音声、JPEG 静止画などの視聴が可能。3.8 型 320 x 240 ドットの液晶と 20GB HDD を搭載する。

前面左側に Windows ロゴが記されたグリーンのボタンと、戻るボタン、十字キーと OK ボタンを装備。右側にボリュームボタンと再生/停止、早送り/戻しボタンを備えている。左面には電源入力を、右面には HOLD ボタンや AV 出力、ヘッドフォン出力などを備えている。

本体下部には専用接続ケーブル用端子を装備。データ転送はパソコンの USB 2.0 端子と接続して、Windows Media Player 10 経由で行なう。電源はリチウムイオンバッテリーで、音楽再生時約 22 時間、動画再生時約 7 時間の再生が可能。

外形寸法は 144 x 27 x 80.7mm (幅 x 奥行き x 高さ)、重量は 340g。接続ケーブルのほか、AC アダプターやステレオイヤホン、キャリングケースなどが同梱される。

また、オプションとして FM 付き液晶リモコン「CZPWR01」や、交換用バッテリー「CZPAB01」、ドッキングステーション「CZPDS01」、ワイヤレスリモコン「CZPIR01」なども発売予定。

(10/20)

レーベルゲート、WMA 対応の音楽配信サービス「MusicDrop」開始

レーベルゲートは、Windows Media Player 10 からアクセス可能な音楽配信サービス「MusicDrop」を 2004 年 10 月 20 日よりスタートした。

Music Drop は、同日に日本語版が公開された Windows Media Player 10 (WMP10) からアクセスして利用できる音楽配信サイト。

オーディオ形式は WMA。同社ではオーディオコーデックに ATRAC3 を採用した音楽配信サイト「Mora」を運営しているが、MusicDrop の配信形式は WMA

形式のみで、WMP10 上部のオンラインストア選択画面からアクセスできる。

WMP10 上で楽曲の検索/選択から購入まで行なえるのが特徴。配信楽曲数は現在のところ 3~4 万曲程度で、年内に Mora と同数 (Mora は現在 8 万曲で年度内 15 万曲が目標) を目指すという。

配信楽曲は Mora と同じになる予定で、参加レーベルは、エイベックス、ソニー・ミュージックエンタテインメント、東芝 EMI、ビクターエンタテインメントなど 16 社。価格はシングルが 158 円からとなっている。決済方法はクレジットカード。

Windows Media DRM 対応のオーディオプレーヤーへの楽曲転送に対応。チェックイン/アウトの機能は備えていないが、プレーヤーへ 3 回までの転送が可能となっている。

(10/20)

マイクロソフト、「Windows Media Player 10」日本語版を公開

マイクロソフトは、「Windows Media Player 10」日本語版を 2004 年 10 月 20 日に公開した。

Windows Media Player 10 は前バージョンからデザインを一新、ライブラリやファイルの取り込み・書き込みといった機能がツールバー上部に集約、ツールバー右上には Windows Media Player 10 が対応するオンラインストアが切り替えられる。

オンラインストアは、「プレミアムサービス」として対応していた映像配信サービス「WOWOW GENETICS」、「Sky PerfectBB」、「PRISMIX.TV」、「ShowTime」に、「パンダイチャンネル」、「CinemaNow」、「MORRICH」が追加された。

また、音楽配信サービスにも新たに対応、同日より開始する「MSN ミュージック」のほか、「Excite Music Store」、「Listen Music Store」、「Music Drop」に対応。これらのコンテンツを Windows Media Player 10 からアクセスして視聴できる。

デジタルオーディオプレーヤーとの連携機能としては、自動同期機能を搭載。PC に接続したオーディオプレーヤーへ自動的に Windows Media Player 10 の楽曲を転送できる。マイクロソフトのファイル転送プロトコル「MTP」やマストレージ対応のプレーヤーであれば、ドライバのインストールも不要になるという。

対応音楽プレーヤーはアイリバー・ジャパン、クリエイティブメディア、三洋電機、シーグランド、ディアン ドエムホールディングス (Rio Japan)、東芝。

OS は Windows XP にも対応する。

(10/20)

無線 LAN 倶楽部、東京メトロの主要駅などでサービス提供開始

NTT ブロードバンドプラットフォーム (NTT-BP) が運営する公衆無線 LAN サービス「無線 LAN 倶楽部」は、東京地下鉄 (東京メトロ) 主要駅でのサービス提供を 2004 年 10 月 20 日より開始すると発表した。

今回のサービスエリア拡大は、東京メトロと NTT ドコモが設置した公衆無線 LAN サービスの施設を利用するもの。

10 月 20 日よりサービス提供を開始する駅は、東京メトロの大手町駅 (丸ノ内線/東西線/千代田線/半蔵門線)、霞ヶ関駅 (丸ノ内線/日比谷線/千代田線)、溜池山王駅 (銀座線/南北線)、国会議事堂前駅 (丸ノ内線、千代田線)、永田町駅 (半蔵門線)、王子駅 (南北線)、王子神谷駅 (南北線) の 14 駅。各駅とも改札口およびコンコースがサービスエリアとなる。

また、12 月末までには東京メトロ 165 駅でサービス提供を開始する予定。

無線 LAN 倶楽部は、IEEE 802.11b に準拠した公衆無線 LAN サービス。契約料 1,575 円、月額 1,575 円の定額制プランのほか、月額 315 円からの従量制プラン、初回ログインから 12 時間利用できるプリペイドメニュー (300 円) が提供されている。

(10/19)

クリエイティブ、MuVo シリーズにさらに超コンパクトな新モデルを発表

クリエイティブメディアは、8 色のカラーバリエーションを用意した新 MP3/WMA プレーヤー「MuVo MICRO N200」を 2004 年 11 月中旬より順次発売すると発表した。

内蔵メモリは 256MB/512MB/1GB の 3 タイプで、それぞれにホワイト (WT)/ブラック (BK)/ブルー (BL)/ライトブルー (LB)/グリーン (GR)/オレンジ (OR)/レ

ッド(RD)/ピンク(PK)の各 8 色のカラーバリエーション、計 24 モデルが用意される。

対応音声圧縮方式は MP3 (8 ~ 320kbps) と WMA (8 ~ 320kbps)。著作権保護機能 (DRM) 付きの WMA の再生もサポートしている。バックライト付き液晶ディスプレイを搭載し、トラック情報の日本語表示も可能。

ライン入力を備え、外部入力音声も直接 MP3 化できる。ビットレートは 96/128/160kbps から選択でき、楽曲録音時に、自動的に曲間を検出して個別のファイルに保存する「曲間カット付きダイレクト録音」機能も搭載している。

FM チューナやマイクも内蔵。ADPCM 形式での FM 録音 (4bit/16kHz ステレオ) やボイスレコーディング (4bit/8kHz モノラル) にも対応する。

PC とのインターフェースは USB 2.0。USB ストレージクラスにも対応する。

付属ソフトは、「Creative MediaSource」と DRM 付き WMA の転送やオーディオトラックに連番を付与できる Windows エクスプローラ用ユーティリティ「MuVo メディアエクスプローラ」。対応 OS は Windows 98 SE/Me/2000/XP。

5 バンドコライザも搭載。電源は単 4 乾電池 × 1 本で、約 15 時間 (MP3) / 約 11 時間 (WMA) の連続再生が可能。外形寸法は約 65.5 × 13 × 33.5mm (幅 × 奥行き × 高さ)、重量は約 22g (電池含まず)。

価格はいずれもオープン。なお、ホワイト/ブラックモデルのみ 2004 年 11 月中旬より発売され、そのほかのカラーについては発売時期未定となっている。

(10/18)

ドコモ、東京メトロの駅内で公衆無線 LAN サービス開始

東京地下鉄 (東京メトロ) と NTT ドコモは、2004 年 5 月に両社で締結した基本合意書に基づき、東京メトロ駅構内において NTT ドコモの Mzone などの無線 LAN サービスの提供を 2004 年 10 月 20 日より開始すると発表した。

今回のサービスは、まず大手町駅、霞ヶ関駅、国会議事堂前駅、溜池山王駅、永田町駅、王子駅、王子神谷駅の駅ホーム、コンコース、改札など

14 駅構内でサービスが開始される。

さらに、2004 年 12 月頃までに、東京メトロの全 168 駅のうち 165 駅で公衆無線 LAN サービスが提供される予定。利用できる場所には、対応エリアであることを示すエリアサインなどが掲示される。

なお、両社が敷設した無線 LAN は他事業者にも開放していく方針。

(10/18)

オンキヨー、「CarryOn Music」の単品発売を開始

オンキヨーは、統合型オーディオソフト「CarryOn Music Ver.4.10」を 2004 年 11 月下旬に発売すると発表した。

CarryOn Music は、オンキヨーとデジジョンが共同開発したオーディオジュークボックスソフト。

最大の特徴は、録音したデータを解析し、アナログ音源からも自動的に楽曲情報を取得できる Gracenote の「MusicID」技術を採用していること。

外部入力からの音声は WAVE/MP3 形式で録音。さらに、WAVE、WMA (XP のみ WMA9 Professional/Lossless も利用可)、MP3、MP3PRO、Ogg Vorbis フォーマットへの変換が可能。MIDI の再生もサポートする。

オーディオファイル管理機能を備えるほか、CD-R/RW ライティング機能、シンクロ録音やノイズ除去などの編集機能も搭載している。

ver.4.00 と 4.10 の違いは、リモコン機能を省いたこと。さらに、4.00 では 24bit/96kHz に対応していたが、4.10 は 24bit/192kHz までとなる。そのほかの仕様は共通。

従来、ソフトウェア単体での販売は行なわれておらず、同社の USB オーディオインターフェイスのバンドルソフトとして提供されていた。

価格はパッケージ版がオープンブライズ。また、直販サイトでは、3,500 円でダウンロード販売も行なわれる。対応 OS は Windows 2000/XP。

(10/15)

アドテック、MP3/WMA プレーヤー「MPIO」の新モデル発表

アドテックは、デジタルオーディオプレーヤー「mpio」(エムピオ) シリーズの新モデル「AD-FL300」/「AD-FG100」2機種を 2004 年 10 月中旬より順次出荷すると発表した。価格はいずれもオープン。

「AD-FG100」は、ラジカセをデザインコンセプトにしたシリコンオーディオプレーヤー。内蔵メモリ容量により、256MB、512MB、1GB の 3 モデルがある。

再生可能な音声フォーマットは MP3/WMA で、WMA の DRM にも対応。ビットレートは MP3 が 8 ~ 320kbps、WMA が 32 ~ 192kbps (VBR 対応) をサポート。ID3 タグ表示にも対応し、漢字やカナを含む日本語や、英語、韓国語、中国語など 5 カ国語の表示が可能となっている。

MP3 エンコーダも内蔵しており、光デジタル/アナログ兼用の入力端子を 1 系統装備。CD プレーヤーなどとデジタル接続することで、高音質で MP3 録音できるという。また、マイクも内蔵しており、ボイスレコーダとしても利用可能。さらに、FM チューナも備え、FM ラジオの録音にも対応する。

録音は 32kHz (48 ~ 320kbps) / 44.1kHz (48 ~ 128kbps) をサポート。なお、ボイスレコーディング時は同じサンプリング周波数とビットレートでモノラルとなる。

ブルーとオレンジの 2 色表示が可能な有機 EL ディスプレイを採用。周囲の明るさを感じて「ヒューマンアイセンサー」を内蔵しており、環境に応じてディスプレイ表示の明るさを自動的に調整する。

PC との接続は USB 2.0 で、USB ケーブルも付属。ストレージクラスに対応し、専用ソフトなどを使わずに楽曲の転送が可能。対応 OS は Windows 98 SE/Me/2000/XP、Mac OS 9/OS X。ファームウェアのアップデートもサポートするが、Mac OS でのアップデートには対応していない。

外形寸法は 82 × 28.5 × 31mm (幅 × 奥行き × 高さ)、本体のみの重量は 40.5g。電源は単 3 アルカリ電池 1 本を使用。連続再生時間は約 43 時間。イヤホンやネックストラップ、キャリングケースなども付属する。

カラーは 256/512MB モデルがワインレッド、シルバ、ブラックの 3 色。1GB モデルはブラックのみとなる。

「AD-FL300」は「ファッション・デジタル」をコンセプトにしたという MP3/WMA プレーヤー。内蔵メモリ容量により、128MB、256MB、512MB、1GB の 4 モデルがある。

再生可能なフォーマットは MP3/WMA で WMA DRM をサポート。再生対応ビットレートなどは FG100 と同じ。マイクも内蔵し、WAVE (ADPCM) 形式での録音も可能になっている。

筐体はクロームメッキを施したアルミニウム製で、フロントパネルの色合いは見る角度によって変わる。通常のネクストラップに加え、ネクストラップ型のイヤフォンを同梱。イヤフォンコードを使ってペンダントのように首から下げて使用できる。

ディスプレイ部は 2 行表示が可能な液晶を採用。ID3 タグの表示もサポートし、日本語、英語、韓国語など 55 カ国語の表示が可能。PC との接続は USB 1.1 経由で、ストレージクラスに対応。対応 OS は Windows 98 SE/Me/2000/XP、Mac OS X。

曲再生には、アーティスト、アルバム、リリース年などで検索できるミュージックサーチや、「お気に入り」、「最近聴いた曲」、再生回数の多い順の「MY TOP 20」、自分で作成したプレイリストなどを利用できる。また、ジャンルや聞く場所にあわせた 16 種類のイコライザを装備する。

電源は内蔵のリチウムポリマー充電電池を使用。充電は USB 経由で行ない、2 時間の充電で最長 10 時間の連続再生が可能。

外形寸法は 50 × 30 × 12.8mm (縦 × 横 × 厚さ)、充電電池を含む重量は 28g。

カラーリングはルビーをイメージした「レッド」、サファイアの「ブルー」、アメジストの「バイオレット」の 3 色。1GB モデルはブルーのみとなる。

(10/15)

イー・アクセス、1.7GHz 帯でモバイル事業に参入表明

イー・アクセスは、2004 年 9 月 30 日に総務省より示された「携帯電話用周波数の確保に向けた取組」を受け、新規参入の周波数候補とされる FDD 方式に関する 1.7GHz 帯に対して、免許取得に向けた検討を開始したと発表した。

イー・アクセスは、同周波数帯での免許取得に向

け検討を開始する旨、総務省に対して書面にて意思表明。TDD 方式による 2GHz 帯での免許取得に向け実験を進めているが、今後はこれに加え、FDD 方式による 1.7GHz 帯の取得についても、実験免許の取得を含め、本格的に検討を進めるとしている。

なお、TD-SCDMA (MC) を利用した次世代 TDD 方式によるサービス提供についても、これまでと同様、実証実験等具体的な検討を積極的に進めていくとしている。

FDD 方式についても TDD 方式と同様、高速データ通信に焦点を当てて、事業開発を行っていくとしている。

(10/14)

DDI ポケット、2005 年 2 月より「WILLCOM」

DDI ポケットは、2005 年 2 月 1 日をもって社名を「株式会社ウイルコム」に変更すると発表した。新たなコーポレートブランドは「WILLCOM」となる。

DDI ポケットは、2005 年 2 月 1 日、社名をウイルコムに変更し、WILLCOM ブランドで PHS の事業展開を行なう。同社が目指す PHS ネットワーク「Wireless IP Local Loop」、そして強い意志や未来を意味する「WILL」など複数の意味を持ち、これに無線コミュニケーションの「Communication」の頭の文字をとったもの。

2004 年 6 月、DDI ポケットは米投資会社カーライル・グループと京セラの買収によって、KDDI グループから袂を分かち新会社となることが発表された。

旧 DDI ポケットは、「飯田橋フェニックス企画」として年度内に清算され、2005 年 1 月 1 日以降、新生 DDI ポケットは旧事業および経営陣、従業員を引き継ぐことになる。

(10/14)

9 月末時点の DSL 加入者数発表、単月加入者数が 20 万件を割る

総務省から 2004 年 9 月末時点の DSL 加入者数の速報が発表された。それによると加入者数は 12,739,564 で、これは前月末の 1.5% 増。増加率は前月から 0.3% のマイナス。

内訳を見ると NTT 東西のフレッツ ADSL での加入

者が 4,739,176 となった。他事業者経由の DSL 加入者が残りの 8,000,388。NTT 東西のフレッツ ADSL のシェアは 37.2% と前月から 0.1% のプラス。

(10/13)

au、音楽を 1 曲丸ごと楽しめる EZ「着うたフル」を発表

KDDI および沖縄セルラーは、「CDMA 1X WIN」向けのサービスとして、楽曲を 1 曲丸ごとダウンロードできる音楽配信サービス EZ「着うたフル」を 2004 年 11 月下旬より開始すると発表した。

EZ「着うたフル」は、携帯電話に搭載されたステレオスピーカーだけでなく、ステレオイヤホンや外部ステレオスピーカーに出力しても楽しめる高音質な楽曲を 1 曲丸ごと配信する CDMA 1X WIN 向け音楽配信サービス。

コーデックは「HE AAC (High Efficiency AAC)」を採用。高い圧縮率を確保しながら AAC 並の高音質が可能だとしている。

配信される楽曲によってはアーティストのジャケット写真や、歌詞などもいっしょに提供され、コンテンツプロバイダーがあらかじめ指定した部分をだけ着うたとして着信設定することも可能。

対応機種は、1X WIN 端末の冬モデル「W21CA」、「W21T」、「W22SA」、「W22H」の 4 機種。サービス開始時に、4 社 6 サイトから約 1 万曲の楽曲が用意される。1 曲当たりの利用料は数百円程度。公式メニューの「着うたフル」からアクセスできる。

KDDI では、EZ 着うたフルのスタートに合わせて音楽ポータルサイト「EZ Music」を開設するほか、CD のオンライン販売サイト「au Records」をオープンする。

「EZ Music」では、EZ 着うたフル、着うた、「au Records」向けに楽曲検索機能を提供。また、FM ラジオアプリ「EZ・FM」で提供しているオンエア中の楽曲を確認できる「NOW ON AIR 情報」機能においても、表示された楽曲の EZ 着うたフル版を検索できる機能を用意する。

(10/13)

MSN Japan が音楽配信サービス「MSN ミュージック」の提供を開始

マイクロソフトは、同社が運営するインターネットポータルサイト「MSN」で、音楽配信サービス「MSN ミュージック」を2004年10月20日より開始すると発表しました。

音声圧縮形式は Windows Media Audio 9 (WMA9)。価格は1曲158円～367円、1アルバムにつき1,300～2,200円。

参加レーベルはコロムビアミュージックエンタテインメント、セーニャ・アンド・カンパニー、東芝EMI、徳間ジャパンコミュニケーションズ、日本クラウン、VAP、ピクチャーエンタテインメント、フォーライフ ミュージックエンタテインメント、ポニーキャニオン、ワーナーミュージック・ジャパン。

最大の特徴は、後日公開予定の Windows Media Player 10 から直接アクセス可能となること。また、MSN ミュージックの独自機能として、「MSN メッセージャー」やブログサービスの「MSN スペース」などを利用して、音楽に関する口コミ情報などの収集/共有機能を備えている。

利用には「Net Passport」の取得が必要。課金方法はクレジットカードと WebMoney に対応予定。ダウンロードしたデータは HDD に保存でき、WMA DRM に対応したポータブルオーディオ機器へ3回まで転送できる。また、ダウンロードした曲のライセンスは、3回まで再発行が行なえるため、OS の再インストール時や PC を買い換えた場合でもダウンロードデータを活用できる。

また、国内販売中の CD カタログデータの検索や、アーティストのキーワード検索なども可能。MSN ミュージック編集部による曲目リストなども用意され、お勧めアルバムや更新情報、ダウンロードランキングなどのリストが公開されるほか、インタビュー記事などの情報記事の提供も予定しているという。

(10/13)

オリンパス、HDD 携帯ミュージックプレーヤー事業に本格参入

オリンパスイメージングは、ハードディスク(HDD)携帯ミュージックプレーヤー事業に新たに参入し、今までにない新しい音楽の楽しみ方を提案する新ブランド「mr.robe」を立ち上げ、その第1弾となる HDD ミュージックプレーヤー「MR-500i」、「MR-100」の2機種

を2004年11月下旬から発売すると発表した。価格はいずれもオープン。

「MR-500i」は、音楽と写真をひとつに持ち運ぶことができる20GBのHDDを内蔵したフラッグシップモデル。

対応フォーマットは WMA(32～192kbps)、MP3(8～320kbps)。WMAのDRMもサポートしている。

3.7型VGA大画面液晶モニタを搭載し、グラフィカルなフォトアルバム機能、撮影機能を搭載。撮影モードでは大画面液晶をファインダーに、画面タッチで撮影するという、新しい撮影スタイルを採用。

PCとのインターフェースはUSB 2.0で、クレードル経由で接続する。対応 OS は Windows 2000/XP。USB マスストレージクラスに対応しており、音楽ファイルを直接ドラッグ&ドロップするだけで再生できる。

日本語表示対応液晶ヘッドフォンリモコンが付属。再生、停止、早送り/巻き戻しなどの基本操作はもちろん、お気に入りリストに追加できる「お気に入りボタン」も装備する。本体の外寸法は 109 × 21 × 73mm (幅 × 奥行き × 高さ)、重量約 210g (本体のみ)。

バッテリーは、内蔵リチウムポリマー充電電池で、バッテリー駆動時間はオーディオ再生時に約8時間、充電時間は約3時間。USB経由での充電には対応していない。リモコンや、クレードル、キャリングポーチなどを同梱している。

「MR-100」は小型サイズながら5GBのHDDを内蔵し、約1,200曲の音楽が記録できる音楽再生専用モデル。

対応フォーマットは WMA(32～192kbps)、MP3(8～320kbps)。WMAのDRMもサポートしている。

液晶の下には、静電パッドをベースにした操作方式を搭載。次に操作できるキーが光り、操作方法がナビゲーションされる。

1.7型160×128ドット赤色表示のSTN液晶を採用。MR-500iと同様に日本語、英語、フランス語、中国語などを表示できる。

曲再生には、アーティスト、アルバム、リリース年などで検索できるミュージックサーチや、「お気に入り」、「最近聴いた曲」、再生回数の多い順の「MY TOP 20」、自分で作成したプレイリストなどを利用でき

る。また、ジャンルや聞く場所にあわせた16種類のイコライザを装備する。

PCとのインターフェースはUSB 2.0で、クレードル経由で接続する。対応 OS は Windows 2000/XP。USB マスストレージクラスに対応しており、音楽ファイルを直接ドラッグ&ドロップするだけで再生できる。

本体の外寸法は 52 × 14.9 × 90mm (幅 × 奥行き × 高さ)、重量約 100g (本体のみ)。バッテリーは、内蔵リチウム充電電池で、バッテリー駆動時間はオーディオ再生時に約8時間(MP3)、約12時間(WMA)となっている。充電時間はACアダプタで約3時間、USB経由で約8時間。クレードル、キャリングポーチなどを同梱している。

「MR-500i」、「MR-100」ともに音楽・画像管理用のPCアプリケーション「m.trip」を付属。「m.trip」では音楽CDから取り込んだ楽曲やインターネットの音楽配信サイトで購入した楽曲の再生、「MR-500i」やデジタルカメラで撮影した画像の閲覧、楽曲と写真のリミックス映像の再生機能などが可能となっている。

(10/13)

EMD Magazine 第39号
発行 2005年2月12日
発行所 音楽配信関連情報サービス
責任編集 宮腰 温
レイアウト 株式会社アイビルダース